

整備作業進捗状況(2004年2月)

実施項目	実績(2月)	予定(3月)
1. 試験設備の解体・撤去	(完了)	
2. F棟、S棟の整備及び保管	一部を新保管庫へ移動、残りを引き続き保管、及び施設Sにおいてドラム缶詰替え作業の準備	同左
3. 施設E及びP建屋内除染	(完了)	
4. 土壌等建屋周辺物の撤去及び保管	施設Eの管理区域内にて汚染土壌の回収作業を実施。施設Eの管理区域解除済地区に残っている床、基礎部分などの汚染確認及び撤去作業を実施。回収した汚染土壌の安定化作業を実施、安定化済土壌を引き続き保管	同左
5. 施設E及びPの解体・撤去	(完了)	
6. 周辺環境モニタリング	空間線量当量率及び空気中の放射能濃度の測定、並びに地下水中のウラン濃度分析を実施(注1参照)	同左
7. 新保管庫建設及び放射性廃棄物の保管	搬入済の放射性廃棄物を保管	同左
8. その他	2月4日付けにて使用の変更許可を取得(注1参照)。放射性廃棄物の量は、2月29日現在、200リットルドラム缶約3,500本、1.5m ³ 角型容器約2,300個、2m ³ 角型容器約300個(注2参照)	

注1) 主な変更点は、「(1) 施設SのNDC社が使用していた区画において、当社がドラム缶から角型容器への詰替え作業などを実施する。(2) 保管庫地下2階のNDC社が使用予定であった区画の一部を当社が使用する。」です。

注2) 放射性廃棄物量を200リットルドラム缶換算で表示しますと、全体で約23,750本となります。なお、NDC社の放射性廃棄物量は、1.5m³角型容器で1,180個(200リットルドラム缶換算8,850本)です。

以上